

## 平成21年2月期 第1四半期財務・業績の概況

平成20年7月8日

上場会社名 株式会社ケーヨー 上場取引所 東証一部  
 コード番号 8168 URL <http://www.keiyo.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 醍醐茂夫  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役社長室長 (氏名) 川井信夫 TEL (043) 255-1111

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成21年2月期第1四半期の連結業績 (平成20年3月1日 ~ 平成20年5月31日)

#### (1) 連結経営成績 (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年2月期第1四半期	49,502	0.4	1,125	9.0	1,355	2.5	866	△24.1
20年2月期第1四半期	49,319	△2.1	1,032	89.4	1,322	61.2	1,142	50.9
20年2月期	191,119	—	3,893	—	4,732	—	3,796	—

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
21年2月期第1四半期	15	50	—	—
20年2月期第1四半期	20	07	—	—
20年2月期	67	44	—	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円	銭
21年2月期第1四半期	108,156		33,510		30.7		593	77
20年2月期第1四半期	116,446		34,240		29.2		596	81
20年2月期	102,718		32,279		31.1		572	29

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円			
21年2月期第1四半期	8,656	△200	△5,138	8,230
20年2月期第1四半期	8,235	△106	△3,327	12,335
20年2月期	6,544	△1,087	△8,077	4,913

2. 平成21年2月期の連結業績予想 (平成20年3月1日 ~ 平成21年2月28日) 【参考】

(%表示は、通期は対前期、中間期は対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
中間期	100,000	2.3	2,600	11.6	3,000	7.1	1,600	△42.6	28	62
通期	197,000	3.1	4,600	18.1	5,200	9.9	2,800	△26.3	50	09

3. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有  
 (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

(注) 詳細は4ページ【定性情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期(平成20年3月1日から平成20年5月31日まで)におけるわが国経済は、原油価格及び、原材料価格の高騰やアメリカのサブプライムローン問題による世界的な金融市場の混乱から景気の減速感が強まり、個人消費にも悪影響を及ぼしました。

小売業界におきましても、企業間競争がより一層激化する中、当社を取り巻く経営環境は依然として厳しい状況が続きました。

このような中、当社グループの中核事業でありますホームセンター事業では、「ふだんの暮らし総合店」づくりを目指し、販売拠点の強化と販売力の向上に努めてまいりました。

具体的には、販売拠点の強化のために、東村山店(東京都東村山市)1店舗を新規に出店し、保木間店(東京都足立区)1店舗を閉店いたしました。また、既存店の販売力向上のため、品揃え枠の拡大と買い易い売場づくりの実現に向け、全面改装を4店舗で実施し、商品の改廃を進めてまいりました。

この結果、売上高、売上総利益ともに、前年を上回ることができました。販売管理費につきましては、新店の開店費用や閉店店舗の退店費用の発生により前年をやや上回りましたが、営業利益、経常利益は前年を上回りました。当期純利益につきましては、当連結会計年度より税務上の繰越欠損金が概ね一掃され税額引当が増加した為、前年を下回る結果となりました。

売上高の主要商品別概況は、次のとおりです。

D I Y用品・園芸用品

D I Y用品では、消防法による火災報知機設置の義務化の影響により、火災報知機の販売が好調でした。レンガ、砂利等の石材や作業靴、作業手袋等の作業用品も前年を上回り好調に推移しました。

園芸用品では、園芸用土、肥料、園芸用薬品や鉢類が前年を上回りました。園芸植物では、草花の苗や野菜苗の販売が好調でした。特に低価格商品に加え、単価の高いブランド苗が好調に推移しました。

家庭用品・インテリア用品

家庭用品では、調理道具や弁当用品が好調に推移しました。また、洗濯ハンガー等の洗濯用品も前年を大きく上回りました。

インテリア用品、日用家電では、カーテンや敷物、組立家具、調理家電、家事家電等の新生活に必要な高い商品が不振でした。

レジャー・ペット用品

カー、レジャー用品では、オイルやバッテリーなどのカーメンテナンス用品は販売が好調でしたが、レジャー用品、トレーニング用品は不振でした。

ペット用品では、ペットの健康への関心の高まりからヘルシー・ダイエット志向のペットフードが前年に引続き好調に推移しました。ペットの室内飼育の増加の影響もあり、室内犬、猫のトイレ関連商品も好調に推移しました。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間の業績は、

売上高	495億2百万円	(前年比 0.4%増)
営業利益	11億25百万円	(前年比 9.0%増)
経常利益	13億55百万円	(前年比 2.5%増)
四半期純利益	8億66百万円	(前年比 24.1%減)

となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間の総資産は1,081億56百万円となり、前連結会計年度末に比較し54億38百万円増加いたしました。主な要因は現金及び預金33億17百万円の増加、たな卸資産17億20百万円の増加などによるものです。

負債総額は746億46百万円となり、前連結会計年度末に比較し42億8百万円増加いたしました。主な要因は支払手形及び買掛金の増加77億82百万円、短期・長期借入金47億88百万円の減少などによるものです。

純資産合計は335億10百万円となり、前連結会計年度末に比較し12億30百万円増加いたしました。主な要因は四半期純利益8億66百万円の計上、剰余金の配当3億49百万円の支払い、その他有価証券評価差額6億36百万円の増加などによるものです。

当第1四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、86億56百万円となりました。その主な内訳は、税金等調整前四半期純利益11億85百万円、仕入債務の増加による77億82百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、新規出店等による有形固定資産の取得による支出2億16百万円および投資有価証券の取得による支出1億49百万円、敷金・保証金の差入れによる支出74百万円等と、一方敷金・保証金返還による収入3億97百万円等により、2億円の支出となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、短期借入金の純増減額による支出41億3百万円等と、長期借入金の返済による支出6億84百万円等により51億38百万円となりました。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ33億17百万円増加し82億30百万円となりました。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想に関する事項につきましては、平成20年4月8日の平成20年2月期決算短信発表時に公表いたしました業績予想に変更はありません。

当連結会計年度におきましては、当業界をとりまく経営環境は、今後も激しい企業間競争が続き、原油価格の高騰等による仕入価格の上昇も懸念され、一層厳しさを増すものと考えております。

こうした中、当社グループでは「ふだんの暮らし総合店」づくりをめざし業績の改善と利益体質の強化に取り組んでまいります。

具体的には、ビルド&スクラップを推進し「ふだんの暮らし総合店」に適した規模の店舗づくりと品揃えの構築に努めてまいります。また、既存店では販売効率の向上を図るため、品揃え枠の拡大と商品改廃にスピードを上げて取り組み、お客様から支持される価格、品質と買いやすい売場づくりを実現してまいります。

さらに、オペレーションの改善や販管費の効率化を図り、コストを削減することにより利益体質の強化と有利子負債の削減に努めてまいります。

### 4. その他

#### (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

#### (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

たな卸資産の実地棚卸の省略等、一部簡便な手続きを採用しております。

#### (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

該当事項はありません。

5. (要約) 四半期連結財務諸表

(1) (要約) 四半期連結貸借対照表

(百万円未満切捨て)

科目	前年同四半期末 (平成20年2月期 第1四半期末)	当四半期末 (平成21年2月期 第1四半期末)	増減		(参考) 前期末 (平成20年2月期 末)
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)	増減率 (%)	金額 (百万円)
(資産の部)					
I 流動資産					
現金及び預金	12,335	8,230	△4,104	△33.3	4,913
受取手形及び売掛金	899	1,105	205	22.9	683
たな卸資産	33,295	32,963	△332	△1.0	31,242
その他	4,463	3,966	△497	△11.1	4,271
貸倒引当金	△1	△0	0	△43.9	△1
流動資産合計	50,993	46,265	△4,728	△9.3	41,110
II 固定資産					
(1) 有形固定資産					
建物及び構築物	32,379	32,779	400	1.2	32,688
土地	12,599	11,719	△879	△7.0	11,733
その他	3,544	3,688	143	4.0	3,653
減価償却累計額	△23,133	△23,652	△519	2.2	△23,452
有形固定資産合計	25,390	24,534	△855	△3.4	24,622
(2) 無形固定資産	760	1,012	252	33.2	865
(3) 投資その他の資産					
投資有価証券	15,337	11,056	△4,280	△27.9	9,842
差入保証金	20,784	20,092	△692	△3.3	20,479
その他	3,684	5,662	1,977	53.7	6,268
貸倒引当金	△503	△466	37	△7.5	△470
投資その他の資産合計	39,302	36,344	△2,957	△7.5	36,120
固定資産合計	65,453	61,891	△3,561	△5.4	61,608
資産合計	116,446	108,156	△8,289	△7.1	102,718

(百万円未満切捨て)

科目	前年同四半期末 (平成20年2月期 第1四半期末)	当四半期末 (平成21年2月期 第1四半期末)	増減		(参考) 前期末 (平成20年2月期 末)
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)	増減率 (%)	金額 (百万円)
(負債の部)					
I 流動負債					
支払手形及び買掛金	23,953	25,497	1,544	6.4	17,715
短期借入金	6,113	4,134	△1,979	△32.4	8,238
1年以内返済予定長期借入金	15,997	4,364	△11,633	△72.7	4,362
その他	5,518	6,074	555	10.1	4,638
流動負債合計	51,583	40,070	△11,512	△22.3	34,953
II 固定負債					
長期借入金	25,089	30,296	5,206	20.8	30,982
退職給付引当金	2,029	2,059	30	1.5	2,061
役員退職慰労引当金	254	198	△55	△21.8	254
その他	3,249	2,021	△1,228	△37.8	2,185
固定負債合計	30,622	34,576	3,953	12.9	35,484
負債合計	82,205	74,646	△7,559	△9.2	70,438
(純資産の部)					
I 株主資本					
資本金	14,948	14,948	—	—	14,948
資本剰余金	12,095	12,095	—	—	12,095
利益剰余金	3,290	6,112	2,822	85.8	5,595
自己株式	△1,521	△2,304	△783	51.5	△2,304
株主資本合計	28,812	30,851	2,039	7.1	30,334
II 評価・換算差額等					
その他有価証券評価差額金	5,134	2,330	△2,803	△54.6	1,693
繰延ヘッジ損益	15	11	△4	△26.9	△36
評価・換算差額等合計	5,149	2,341	△2,808	△54.5	1,657
III 少数株主持分	279	317	38	13.8	287
純資産合計	34,240	33,510	△730	△2.1	32,279
負債・純資産合計	116,446	108,156	△8,289	△7.1	102,718

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

(百万円未満切捨て)

科目	前年同四半期 (平成20年2月期 第1四半期)	当四半期 (平成21年2月期 第1四半期)	増減		(参考) 前期 (平成20年2月期)
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)	増減率 (%)	金額 (百万円)
I 売上高	49,319	49,502	182	0.4	191,119
II 売上原価	36,117	36,187	70	0.2	139,186
売上総利益	13,202	13,314	112	0.8	51,933
III 販売費及び一般管理費	12,170	12,189	18	0.2	48,039
営業利益	1,032	1,125	93	9.0	3,893
IV 営業外収益	792	726	△65	△8.3	2,831
V 営業外費用	501	496	△5	△1.0	1,992
経常利益	1,322	1,355	32	2.5	4,732
VI 特別利益	37	0	△36	△98.0	1,379
VII 特別損失	161	170	9	5.6	2,339
税金等調整前四半期(当期) 純利益	1,198	1,185	△12	△1.1	3,772
法人税、住民税及び事業税	27	350	323	—	127
法人税等調整額	—	△61	△61	—	△196
少数株主利益	29	29	0	2.7	44
四半期(当期) 純利益	1,142	866	△275	△24.1	3,796

(3) (要約) 四半期連結株主資本等変動計算書

前第1四半期 (自 平成19年3月1日 至 平成19年5月31日)

(百万円未満切捨て)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成19年2月28日残高 (百万円)	14,948	12,095	2,503	△1,520	28,026
当四半期変動額					
剰余金の配当			△355		△355
四半期純利益			1,142		1,142
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の四半期変動額 (純額)					
当四半期変動額合計 (百万円)	—	—	786	△0	785
平成19年5月31日残高 (百万円)	14,948	12,095	3,290	△1,521	28,812

(百万円未満切捨て)

	評価・換算差額等			少数株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	評価・換算差額 等合計		
平成19年2月28日残高 (百万円)	6,175	12	6,188	250	34,465
当四半期変動額					
剰余金の配当					△355
四半期純利益					1,142
自己株式の取得					△0
株主資本以外の項目の四半期変動額 (純額)	△1,041	2	△1,039	29	△1,010
当四半期変動額合計 (百万円)	△1,041	2	△1,039	29	△224
平成19年5月31日残高 (百万円)	5,134	15	5,149	279	34,240



当第1四半期 (自 平成20年3月1日 至 平成20年5月31日)

(百万円未満切捨て)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成20年2月29日残高 (百万円)	14,948	12,095	5,595	△2,304	30,334
当四半期変動額					
剰余金の配当			△349		△349
四半期純利益			866		866
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の四半 期変動額 (純額)					
当四半期変動額合計 (百万円)	—	—	516	△0	516
平成20年5月31日残高 (百万円)	14,948	12,095	6,112	△2,304	30,851

(百万円未満切捨て)

	評価・換算差額等			少数株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	評価・換算差額 等合計		
平成20年2月29日残高 (百万円)	1,693	△36	1,657	287	32,279
当四半期変動額					
剰余金の配当					△349
四半期純利益					866
自己株式の取得					△0
株主資本以外の項目の四半 期変動額 (純額)	636	47	683	29	713
当四半期変動額合計 (百万円)	636	47	683	29	1,230
平成20年5月31日残高 (百万円)	2,330	11	2,341	317	33,510

〈参考〉前連結会計年度の連結株主資本等変動計算書 (自 平成19年3月1日 至 平成20年2月29日)

(百万円未満切捨て)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成19年2月28日残高 (百万円)	14,948	12,095	2,503	△1,520	28,026
連結会計年度中の変動額					
剰余金の配当			△705		△705
当期純利益			3,796		3,796
自己株式の取得				△784	△784
株主資本以外の項目の連結会計年 度中の変動額 (純額)					
連結会計年度中の変動額合計 (百万円)	—	—	3,091	△784	2,307
平成20年2月29日残高 (百万円)	14,948	12,095	5,595	△2,304	30,334

(百万円未満切捨て)

	評価・換算差額等			少数株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	評価・換算差額 等合計		
平成19年2月28日残高 (百万円)	6,175	12	6,188	250	34,465
連結会計年度中の変動額					
剰余金の配当					△705
当期純利益					3,796
自己株式の取得					△784
株主資本以外の項目の連結会計年 度中の変動額 (純額)	△4,482	△48	△4,531	37	△4,493
連結会計年度中の変動額合計 (百万円)	△4,482	△48	△4,531	37	△2,185
平成20年2月29日残高 (百万円)	1,693	△36	1,657	287	32,279

(4) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(百万円未満切捨て)

科目	前年同四半期 (平成20年2月期 第1四半期)	当四半期 (平成21年2月期 第1四半期)	(参考) 前期 (平成20年2月期)
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>			
税金等調整前四半期(当期) 純利益	1,198	1,185	3,772
減価償却費	325	302	1,304
売上債権の増加額	△266	△421	△50
たな卸資産の増加(△) 額又は減少額	△1,213	△1,720	839
仕入債務の増加額	6,931	7,782	668
その他	1,361	1,770	457
小計	8,336	8,899	6,991
法人税等の支払額	△136	△138	△142
その他	36	△103	△305
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,235	8,656	6,544
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>			
有形固定資産の取得による支出	△129	△216	△1,539
有形固定資産の売却による収入	—	—	562
投資有価証券の取得による支出	△408	△149	△667
投資有価証券の売却による収入	131	—	131
敷金・保証金の差入による支出	△81	△74	△955
敷金・保証金の返還による収入	373	397	1,583
その他	8	△157	△203
投資活動によるキャッシュ・フロー	△106	△200	△1,087
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>			
短期借入金の純増減額	△2,467	△4,103	△342
長期借入による収入	400	—	10,020
長期借入金の返済による支出	△903	△684	△16,265
配当金の支払額	△355	△349	△705
自己株式の取得による支出	△0	△0	△784
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,327	△5,138	△8,077
<b>IV 現金及び現金同等物の増加額又は減少(△) 額</b>	4,801	3,317	△2,620
<b>V 現金及び現金同等物の期首残高</b>	7,533	4,913	7,533
<b>VI 現金及び現金同等物の四半期末(期末) 残高</b>	12,335	8,230	4,913